

お知らせ

記者発表資料

令和2年7月15日

■同時発表先：合同庁舎記者クラブ、鳥取県政記者会、島根県政記者会、岡山県政記者クラブ
広島県政記者クラブ、山口県政記者会、山口県政記者クラブ、山口県政滝町記者クラブ
中国地方建設記者クラブ

令和2年度 中国地方整備局入札監視委員会 総会及び第一部会 第1回定例会議の審議概要について

中国地方整備局入札監視委員会は令和2年度総会及び第一部会第1回定例会議を令和2年6月22日（月）に開催しました。

総会では委員長の選出、委員の所属部会の指名等を行い、第一部会第1回定例会議では、令和元年10月1日から令和2年3月31日までの間に契約した「工事」「建設コンサルタント業務等」「役務の提供等及び物品の製造等」の中から抽出した8件の事案について、入札・契約の過程並びに契約内容について審議を行いました。

総会及び第一部会定例会議の審議概要については別紙のとおりです。

【問い合わせ先】

中国地方整備局入札監視委員会事務局

082-221-9231（代表）

主任監査官	もりわき 森脇	かずひろ 和宏	（内線 2114）
-------	------------	------------	-----------

総務部 契約管理官	むろた 室田	こうじ 浩司	（内線 2222）
-----------	-----------	-----------	-----------

企画部 技術開発調整官	にし 西	ひろゆき 博之	（内線 3120）
-------------	---------	------------	-----------

【広報担当窓口】

広報広聴対策官	かとう 加藤	こうじ 浩士	（内線 2117）
---------	-----------	-----------	-----------

企画部 環境調整官	ごとう 後藤	としひさ 寿久	（内線 3114）
-----------	-----------	------------	-----------

総 会

1. 開催日時及び場所

令和2年6月22日（月） 14時00分～14時15分
中国運輸局 海技試験場

2. 審議概要

- ・ 委員長の選出及び委員長代理の指名
- ・ 委員の所属部会の指名

「3. 委員名簿」のとおり、委員長、委員長代理の選任と、各委員の所属部会の指名がされました。

3. 委員名簿

委員長 (第一部会)	<small>ちかもり ひでたか</small> 近森 秀高	岡山大学大学院環境生命科学研究科教授
委員長代理 (第二部会)	<small>の だ かずひろ</small> 野田 和裕	広島大学大学院法務研究科教授
委員 (第一部会)	<small>たけだ のぶふみ</small> 竹田 宣典	広島工業大学大学院工学部環境土木工学科 都市デザイン工学科教授
委員 (第一部会)	<small>ためすえ かずまさ</small> 爲末 和政	弁護士
委員 (第一部会)	<small>むらかみ けいこ</small> 村上 恵子	県立広島大学経営情報学部経営学科教授
委員 (第一部会)	<small>やまだ きえ</small> 山田 希恵	公認会計士
委員 (第二部会)	<small>さくま つよし</small> 佐久間 剛	前中国経済連合会常務理事
委員 (第二部会)	<small>すずき もとゆき</small> 鈴木 素之	山口大学大学院創成科学研究科教授

- ※ 第一部会は港湾空港関係を除く事項について審議
- ※ 第二部会は港湾空港関係の事項について審議

中国地方整備局入札監視委員会（第一部会） 審議概要

開催日時及び場所	令和2年6月22日（月） 14時30分～17時00分 中国地方整備局 建政部 3階会議室	
委員	部会長 近森 秀高 (大学院教授) 委 員 竹田 宣典 (大学院教授) 委 員 爲末 和政 (弁護士) 委 員 村上 恵子 (大学教授) 委 員 山田 希恵 (公認会計士)	
審議対象期間	令和元年10月1日 ～ 令和2年3月31日	
抽出案件	総件数 8件	(備考) 審議対象工事等の案件については、 別紙1のとおり
○工事		
一般競争入札方式 (WTO対象)	1件	
一般競争入札方式 (WTO対象外)	4件	
○建設コンサルタント業務等		
標準プロポーザル	1件	
通常指名競争入札方式	1件	
○役務の提供等及び物品の製造等		
一般競争入札方式	1件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答	意見・質問	
	別紙2のとおり	別紙2のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	なし	

別紙1 抽出事案一覧（期間 令和元年10月1日～令和2年3月31日）

【工事】

契約方式	工事種別	工事名	事務所	契約額(千円)	落札率	入札者数	備考
一般競争(WTO対象)	鋼橋上部工事	東広島バイパス海田高架橋5号橋鋼上部工事	広島国道	1,051,545	91.42%	19	
一般競争(WTO以外)	電気設備工事	倉吉地方合同庁舎電気設備改修工事	岡山営繕	42,900	95.94%	1	
	一般土木工事	小鴨川第1号砂防堰堤外補強対策工事	倉吉	264,000	99.94%	2	
	一般土木工事	大橋川東本町地区改良外工事	出雲	244,750	93.84%	4	
	機械設備工事	台道特殊車両取締装置更新工事	山口	85,250	99.10%	1	

【建設コンサルタント】

契約方式	業種区分	業務名	事務所	契約額(千円)	落札率	入札者数	備考
標準プロポーザル	土木関係建設コンサルタント業務	福山道路河手高架橋外詳細設計その1業務	福山	119,735	99.98%	4	←技術提案書の提出者数
通常指名競争入札	地質調査業務	令和元年度小田川川管酒津地区土壌調査その3業務	高梁川・小田川	23,694	84.97%	9	

【役務の提供等及び物品の製造等】

契約方式	業務分類	件名	事務所	契約額(千円)	落札率	入札者数	備考
一般競争	役務の提供等	八田原ダム曝気設備整備	八田原ダム	5,280	97.76%	1	

別紙2 委員からの意見・質問、それに対する回答

意見・質問	説明・回答
1. 第一部会部会長及び部会長代理の選出	
<p>部会開催にあたり、第一部会長に近森委員を、部会長代理に爲末委員を選任しました。</p>	
2. 報告及び審議	
(1) 入札・契約手続きの運用状況等の報告	
<p>1) 入札方式別発注工事 2) 入札方式別発注業務 3) 入札方式別発注役務の提供等及び物品の製造等 4) 指名停止等の運用状況 5) 談合情報等の対応状況 6) 再度入札における一位不動状況 7) 低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況 8) 一者応札の発生状況 9) 不調・不落の発生状況 10) 高落札率の発生状況</p> <p>Q 1. 再度入札における一位不動状況の表の見方を教えて欲しい。</p>	<p>A 1. 一般土木Cの河川工事では、総入札件数32件のうち、予定価格超過で2回目の入札に移行した案件が1件あり、その1件は、1回目の最低価格入札者と2回目の最低価格入札者が同じ者であったため、「一位不動」となった、ということである。</p>
(2) 抽出事案審議	
<p>1) 倉吉地方合同庁舎電気設備改修工事</p> <p>Q 1. 一者応札であるが、どのような参加要件の緩和を実施したのか。</p> <p>Q 2. 「B又はC等級」に緩和したにも関わらず、一者応札であったので、等級の拡大以外にも今後工夫できそうな緩和策はあるのか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 本工事は、1回目の入札手続きが不調に終わり再発注した案件で、1回目の手続きの参加要件は工事等級が「B等級」であったのに対して、今回は「B又はC等級」に緩和した。</p> <p>A 2. 同種工事の施工実績の設定の緩和等が考えられる。今後も動向を注視しながら実施していきたい。</p>
<p>2) 東広島バイパス海田高架橋5号橋鋼上部工事</p> <p>Q 1. 入札価格が公表されている上位4者は、予定</p>	<p>A 1. 積算技術力の優れた企業が、公表された積算基</p>

<p>価格10億円弱に対し、入札価格が15万円の差しかない。入札価格に差がないので不審に思うが、1号橋から4号橋までの工事について、4者が順番に受注していることはないのか。</p> <p>Q2. 入札価格は何桁までと決まっているのか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>準と積算単価に基づいて、調査基準価格ギリギリの入札を行った結果と認識している。</p> <p>また、4者が順番に受注しているようなことはない。</p> <p>A2. 決まっていない。</p>
<p>3) 台道特殊車両取締装置更新工事</p> <p>Q1. 結果的に一者応札になっているが、参加可能者数は353者と多い。一者応札になった要因は何か。</p> <p>Q2. 本工事は更新工事だが、設置した者が今回の落札者なのか。</p> <p>Q3. 装置の仕様は決まっていると思うが、この工事においてどこに技術的な差がでるのか。競争性がないのではないかと。参加者を増やす、魅力ある工事にするためには、今後どのようにすればよいか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A1. 参加申請は2者であったが、1者辞退があり結果的に一者応札となった。</p> <p>特殊車両取締装置の更新という特殊性の高い工事であるため参加者数が少なかったと考えられる。</p> <p>A2. 設置した者と違う者が落札した。</p> <p>A3. 装置を製造している者は国内に1者しかいないが、装置の設置は多くの会社の実施できるものである。</p> <p>参加者を増やす方法は引き続き検討する。</p>
<p>4) 福山道路河手高架橋外詳細設計その1業務</p> <p>Q1. 技術提案書提出要請者選定時において、技術提案の要請者を27者から5者に絞り込む際に、D・E・F者はA評価とB評価が同点だが、どのようにE者まで絞り込んだのか。</p> <p>Q2. 技術提案書は、どのようなことが記載されているのか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A1. 業務成績、手持ち業務量、企業の格付順位の順で評価を行い絞り込んだ。</p> <p>A2. 「既設橋との近接施工と地質状況を考慮した設計・施工計画の留意点」について記載されている。</p>
<p>5) 小鴨川第1号砂防堰堤外補強対策工事</p> <p>Q1. 入札に参加した(株)共栄組と(株)井中組は地元の会社なのか。入札調書の(株)井中組の施工体制が「一」となっているのはなぜか。また、本工事の砂防堰堤には魚道は設置しなくてもよいのか。</p> <p>Q2. 有形文化財となっている砂防堰堤だが、特別</p>	<p>A1. 両者は鳥取県中部の建設会社である。</p> <p>(株)井中組の施工体制が「一」となっているのは、一括審査方式で別工事を受注したことにより、「無効」となったものである。</p> <p>また、本工事における魚道の必要性については検討中である。</p> <p>A2. 設計の段階で配慮している。</p>

<p>な配慮は必要ないのか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	
<p>6) 大橋川東本町地区改良外工事</p> <p>Q 1. 本工事は、縁切矢板と締切矢板を施工する工事だが、次施工の地盤改良と築堤護岸の工事を分けている理由は技術的なことなのか。</p> <p>Q 2. 入札説明書に主任技術者又は管理技術者の専任の記載があるが、3, 500万円未満の工事は専任の義務はないと記載されている。3, 500万円を超える工事ばかりなのに記載する理由は何か。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 工程、工期等を総合的に勘案して決めている。</p> <p>A 2. 公告段階で契約額が3, 500万円を超えるかどうか不明なので、定型的に記載している。</p>
<p>7) 令和元年度小田川付替酒津地区土壌調査その3業務</p> <p>Q 1. 小田川付け替え事業箇所は国有地なのか。また、自然由来で鉛、砒素、ふっ素の3つが検出されることがあるのか。</p> <p>Q 2. その3業務なので、その1・その2がこれまで発注されて、今後その4業務の発注の可能性はあるのか。</p> <p>Q 3. 入札に参加した10者中7者が同価格なので競争になっていないのではないのか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 事業箇所は国有地である。また、鉱物が存在する場所では、鉛、砒素、ふっ素の3つが検出されることは全国的に珍しいものではない。</p> <p>A 2. これまで、その1・その2業務を発注し、今後、場外に持ち出す土の量が増えればその4業務の発注も考えられる。</p> <p>A 3. 各社受注したいために、公表された積算基準と積算単価に基づいて調査基準価格で入札したと思われる。</p>
<p>8) 八田原ダム曝気設備整備</p> <p>Q 1. ホースの更新は、定期的なメンテナンスによるものか。また、定期的なメンテナンスはおこなっているのか。</p> <p>Q 2. 参加要件を緩和して「上下水道の配管工事」も可能にしたということだが、本件を受注した者は「上下水道の配管工事」の者だったのか。</p> <p>Q 3. 「上下水道の配管工事」の者でも参加できるように緩和したが、そのことをどのように周知しているのか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. コンプレッサとフロートは定期的な点検を行っているが、ホースは自沈式のためメンテナンスは困難である。空気漏れの状態により補修が必要と判断した。</p> <p>A 2. 参加要件を緩和して「上下水道の配管工事」も参加可能としたが、受注者は「上下水道の配管工事」の者ではない。</p> <p>A 3. 公告資料で周知している。</p>

(3) 再苦情処理の報告

該当事案なし